



平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月7日

上場会社名 株式会社ルックホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 8029 URL <http://www.look-holdings.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 和洋
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 高山 英二 (TEL) 03-3794-9148
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績 (平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	31,380	0.8	707	△7.9	850	△11.4	549	△23.8
29年12月期第3四半期	31,118	1.3	767	—	959	—	721	—

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 275百万円(△67.4%) 29年12月期第3四半期 845百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	71.89	—
29年12月期第3四半期	94.52	—

(注) 当社は平成30年7月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。これにより、前連結会計年度に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	32,656	22,190	66.9
29年12月期	31,364	22,122	69.4

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 21,836百万円 29年12月期 21,771百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	6.00	6.00
30年12月期	—	0.00	—		
30年12月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年12月期の期末配当の内訳 普通配当5.00円 記念配当1.00円

当社は、平成30年7月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施したため、平成30年12月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年12月期の連結業績予想 (平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	4.6	1,600	9.6	1,800	3.0	1,600	4.1	209.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は平成30年7月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施したため、平成30年12月期通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細につきましては、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年12月期3Q	7,670,613株	29年12月期	7,647,413株
30年12月期3Q	14,915株	29年12月期	13,752株
30年12月期3Q	7,644,040株	29年12月期3Q	7,634,168株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 当社は平成30年7月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。これにより、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる場合があります。業績予想に関しましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は、平成30年7月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。併せて同日付で単元株式数の変更(1,000株から100株への変更)を実施しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年12月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりです。

(1) 平成30年12月期の配当予想

1株当たり配当金 期末 5.00円

(2) 平成30年12月期の連結業績予想

通期 1株当たり当期純利益 41.92円

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）	8
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）	8
（追加情報）	8
（セグメント情報等）	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続く中、緩やかな回復基調で推移いたしました。また、米中貿易摩擦の激化や原油価格の上昇が国内景気に与える影響が懸念されるなど先行きは不透明な状況が続きました。

当アパレル・ファッション業界におきましては、衣料品に関する消費者の節約志向が依然として強く、更には今夏の記録的な猛暑や地震、台風等の相次ぐ自然災害の影響などもあり、厳しい環境が続きました。

このような状況の中、当社は1月から持株会社体制に移行しグループ経営の一層の効率性向上に向けた対応を実施してまいりました。当社グループは、当連結会計年度を最終年度とする中期経営計画で掲げる重点政策「既存事業の収益向上」、「Eコマース事業の拡大」、「積極的な新規事業開発」に引き続き取り組み、安定的な収益基盤の確立に努めてまいりました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は313億8千万円(前年同期比0.8%増)、営業利益は7億7百万円(前年同期比7.9%減)、経常利益は8億5千万円(前年同期比11.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億4千9百万円(前年同期比23.8%減)となりました。

セグメント別の業績の概況は次のとおりであります。

(アパレル関連事業)

「日本」につきましては、既存事業では、中核事業会社の株式会社ルックが展開する百貨店を主販路とするオリジナルブランド「キース」やインポートブランド「イル ビゾンテ」、「マリメッコ」が引き続き堅調に推移いたしました。「マリメッコ」においては、本年8月にスマートフォンアプリを導入しオンラインと店舗の連携強化など更なる売上拡大に繋がる施策に取り組んでおります。また、「A.P.C.」を展開するA.P.C. Japan株式会社において、本年新規出店した東京ミッドタウン日比谷店の売上が堅調に推移したことに加え、バッグや財布、シューズなどの雑貨を強化したメンズの売上が大きく伸長した結果、売上が順調に推移いたしました。Eコマース事業では、「A.P.C.」、「レペット」、「アリス アンド オリビア」など一部ブランドにおいて実店舗とEコマースの在庫を一元的に管理する取り組みをスタートするとともに、会員向けポイントサービス「ルックメンバーシップ」の対象店舗を一部百貨店インショップに拡大するなど、お客様の利便性向上に努め、Eコマース事業の拡大に向けた諸施策を実行してまいりました。新規事業ではフランスのライフスタイルブランド「ベンシモン」において、本年8月、横浜の商業施設マークイズみなとみらいに「ベンシモン オトゥール・デュ・モンド」を新規出店いたしました。しかしながら、8月、9月の大型台風の相次ぐ上陸の影響等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は199億1千6百万円(前年同期比0.9%減)となりました。また、為替レートの変動による仕入コストの上昇要因等もあり、営業利益は3億6千8百万円(前年同期比13.7%減)となりました。

「韓国」につきましては、株式会社アイディールックにおいて、「サンドロ」「マージュ」などインポートブランドの売上が引き続き好調に推移し売上高が増加したほか、効率経営に努めた結果、販売費及び一般管理費が減少したため、営業利益は前年同期を大幅に上回りました。株式会社アイディジョイにおいては、不採算店舗の撤退や百貨店への新規出店を推し進めたことなどにより、売上が増加いたしました。その結果、韓国の当第3四半期連結累計期間の売上高は109億1千2百万円(前年同期比5.6%増)、営業利益は3億6千1百万円(前年同期比83.1%増)となりました。

「その他海外」(香港・中国)につきましては、ルック(H.K.) Ltd.(香港)や洛格(上海)商貿有限公司において、売上が堅調に推移したものの、販売費及び一般管理費の増加により営業利益は前年同期を下回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1億5千6百万円(前年同期比5.3%増)、営業利益は9百万円(前年同期比45.9%減)となりました。

これらの結果、アパレル関連事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は309億8千5百万円(前年同期比1.3%増)、営業利益は7億3千8百万円(前年同期比15.3%増)となりました。

(生産及びOEM事業)

「生産及びOEM事業」につきましては、株式会社ルックモードにおいて、中核事業会社の株式会社ルックのアパレル製品の取扱高減少による生産高の減少により、売上高が前年同期を下回り、当第3四半期連結累計期間の売上高は21億5千2百万円(前年同期比10.6%減)、営業損失は1千3百万円(前年同期は1千6百万円の営業利益)となりました。

(物流事業)

「物流事業」につきましては、株式会社エル・ロジスティクスにおいて、ルックグループ外の受託取扱高が減少した結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7億8千7百万円(前年同期比8.8%減)、営業利益は2千1百万円(前年同期比65.8%減)となりました。

(飲食事業)

「飲食事業」につきましては、株式会社ファッショナブルフーズ・インターナショナルが展開する「ジェラテリア マルゲラ」において、展開店舗数の減少により売上高が前年同期を下回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8千3百万円(前年同期比24.2%減)、営業損失は3千万円(前年同期は1千4百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、主に商品及び製品が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ12億9千2百万円増加し、326億5千6百万円となりました。

負債は、季節要因により借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ12億2千4百万円増加し、104億6千6百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加した一方、為替変動による為替換算調整勘定の減少要因などにより、前連結会計年度末に比べ6千7百万円増加し、221億9千万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は、66.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年12月期の通期業績予想につきましては、平成30年2月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,971	5,206
受取手形及び売掛金	5,755	4,863
商品及び製品	8,481	9,922
仕掛品	436	492
原材料及び貯蔵品	306	337
繰延税金資産	1,353	1,352
その他	600	928
貸倒引当金	△64	△60
流動資産合計	21,841	23,044
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,219	1,242
土地	1,665	1,648
その他（純額）	951	918
有形固定資産合計	3,836	3,809
無形固定資産	462	309
投資その他の資産		
投資有価証券	3,353	3,351
敷金	1,708	1,765
その他	297	514
貸倒引当金	△137	△137
投資その他の資産合計	5,222	5,493
固定資産合計	9,522	9,612
資産合計	31,364	32,656

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,353	3,499
短期借入金	106	830
1年内返済予定の長期借入金	—	1,200
未払金	55	186
未払費用	1,569	1,580
未払法人税等	275	137
未払消費税等	166	226
返品調整引当金	41	34
賞与引当金	122	261
ポイント引当金	43	30
関係会社事業損失引当金	5	—
資産除去債務	56	63
その他	301	328
流動負債合計	6,096	8,380
固定負債		
長期借入金	1,900	700
繰延税金負債	472	485
退職給付に係る負債	157	299
役員退職慰労引当金	11	40
資産除去債務	214	216
その他	388	344
固定負債合計	3,144	2,086
負債合計	9,241	10,466
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,340	6,361
資本剰余金	1,631	1,637
利益剰余金	11,759	12,079
自己株式	△18	△20
株主資本合計	19,713	20,058
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,530	1,521
為替換算調整勘定	528	256
その他の包括利益累計額合計	2,058	1,778
非支配株主持分	350	353
純資産合計	22,122	22,190
負債純資産合計	31,364	32,656

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	31,118	31,380
売上原価	15,250	15,814
売上総利益	15,868	15,566
販売費及び一般管理費	15,100	14,859
営業利益	767	707
営業外収益		
受取利息	10	14
受取配当金	32	37
退職給付引当金戻入額	114	41
為替差益	2	—
その他	100	108
営業外収益合計	260	202
営業外費用		
支払利息	16	14
為替差損	—	4
固定資産除却損	25	23
その他	27	17
営業外費用合計	69	60
経常利益	959	850
特別利益		
関係会社事業損失引当金戻入額	—	5
関係会社貸倒引当金戻入額	—	2
特別利益合計	—	7
特別損失		
減損損失	6	96
関係会社事業損失引当金繰入額	4	—
特別損失合計	11	96
税金等調整前四半期純利益	948	761
法人税等	236	202
四半期純利益	711	558
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△10	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	721	549

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	711	558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46	△8
為替換算調整勘定	88	△274
その他の包括利益合計	134	△283
四半期包括利益	845	275
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	863	269
非支配株主に係る四半期包括利益	△17	6

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

連結の範囲の重要な変更

当第3四半期連結会計期間において、㈱ヴェラ・ブラッドリー・スタイルは、連結子会社である㈱ルックを存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

連結子会社の事業年度等に関する事項の変更

従来、連結子会社のうち決算日が8月31日であった㈱レッセ・パッセは、連結財務諸表作成に当たり、11月30日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用し、連結決算日までの期間に発生した重要な取引について必要な調整をおこなっておりましたが、第1四半期連結会計期間より決算日を12月31日に変更しております。

この決算期変更により、当第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、平成29年12月1日から平成30年9月30日までの10か月間を連結しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は222百万円、営業利益は2百万円、経常利益及び税金等調整前四半期当期純利益は9百万円それぞれ増加しております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用の計算

当社及び一部の連結子会社において、税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合については、重要な加減算項目を加味し、法定実効税率を使用して計算しております。

（追加情報）

連結納税制度の適用

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から当社を連結納税親会社とした連結納税制度を適用しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成29年1月1日至平成29年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	アパレル関連事業				生産及び OEM事業	物流 事業	飲食 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	韓国	その他 海外	計						
売上高										
外部顧客への 売上高	20,069	10,315	148	30,532	385	90	110	31,118	—	31,118
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	31	17	—	48	2,022	773	—	2,843	△2,843	—
計	20,100	10,332	148	30,581	2,407	863	110	33,962	△2,843	31,118
セグメント利益 又は損失(△)	426	197	16	640	16	63	△14	707	60	767

(注) 1. 調整額はセグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

[関連情報]

地域ごとの情報

売上高

(単位：百万円)

日本	韓国	香港	中国	合計
20,655	10,315	108	39	31,118

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	アパレル関連事業				生産及び OEM事業	物流 事業	飲食 事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	韓国	その他 海外	計						
売上高										
外部顧客への 売上高	19,882	10,895	156	30,933	356	7	83	31,380	—	31,380
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	34	17	—	51	1,796	780	—	2,628	△2,628	—
計	19,916	10,912	156	30,985	2,152	787	83	34,009	△2,628	31,380
セグメント利益 又は損失(△)	368	361	9	738	△13	21	△30	717	△9	707

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額はセグメント間の取引に関わる調整額1,560百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,570百万円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。なお、第1四半期連結会計期間より、持株会社体制に移行したことに伴い、当社において新たに報告セグメントに帰属しない全社費用が発生しております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来決算日が8月31日であった連結子会社㈱レッセ・パッセは、決算日を12月31日に変更しております。この変更により、当第3四半期連結累計期間における㈱レッセ・パッセの会計期間は10か月となっております。

なお、当第3四半期連結累計期間に含まれる㈱レッセ・パッセの平成29年12月1日から平成29年12月31日までの売上高及びセグメント利益は「アパレル関連事業」の「日本」でそれぞれ222百万円及び2百万円であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「アパレル関連事業」及び「飲食事業」において、店舗資産及び全社資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては「アパレル関連事業」の「日本」が90百万円、「韓国」が4百万円及び「飲食事業」が1百万円であります。

[関連情報]

地域ごとの情報

売上高

(単位：百万円)

日本	韓国	香港	中国	合計
20,329	10,895	109	47	31,380